

国立大学法人琉球大学に求められる学長像

平成27年12月15日

琉球大学学長選考会議

琉球大学は、建学の精神である「自由平等、寛容平和」を継承・発展させて、「真理の探究」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追求」を基本理念とし、「地域特性に根ざした国際性豊かなアジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点大学」を目指している。

学長には、この基本理念・目標を実現するため、これを実現しようとする強い意志と、次のような資質と能力が求められる。

- 1 人格が高潔で、学識に優れ、国際的な視野を持ち、学生、教職員、地域社会等様々なステークホルダーとの間に信頼関係を構築する能力
- 2 本学の代表者として、社会の各界との交渉を行うとともに、学内外の幅広い意見を調整し、理解・協力を得て総合的な合意形成を進める能力
- 3 本学の教学及び経営の最終責任者として、ガバナンスとコンプライアンスの強化を踏まえて、機動的な組織運営・経営を行う能力
- 4 激しく変化する社会において、本学に期待される社会的役割を認識し、大学の機能強化を果たすべく、迅速な決断によって果敢に改革を推進する能力
- 5 高等教育機関である大学に関する高い見識と、大学のリーダーとしての明確なビジョン及び具体的な方策案を有し、それを高いコミュニケーション力によって学内外に分かりやすく伝えて実現に取り組む能力